

元気いっぱい、歌や踊り披露

9月12日、祖父母参観が南ヶ丘保育園で行われ、園児58人が祖父母の前で元気いっぱいに歌や踊りを披露しました。

園児たちは、祖父母に楽しんでもらおうと、この日に向けて頑張って練習してきました。

4歳児はおでんぐつぐつ体操、5歳児は野菜のお面をかぶって歌ったり踊ったり。祖父母は、元気いっぱいいな園児たちの姿を笑顔で応援していました。

また、園児たちに手を引かれ、祖父母も「にんげんっていいな」の曲に合わせて一緒に踊り、楽しい時間を過ごしていました。

南ヶ丘保育園で祖父母参観

最後に園児たちが、障子紙を絵の具で染め、厚紙に貼って作ったうちわと、いつも園児同士で行っている背中をなでるマッサージをプレゼント。日頃の感謝の気持ちを込めたプレゼントに、祖父母はとてもうれしそうでした。



◀プレゼントのマッサージを受ける祖父母



▲祖父母と一緒に踊る園児たち

100歳ご長寿 市長がお祝い

堀口市長から賞状を受け取る和田ヒロさん



「敬老の日」を前にした9月13日、堀口市長と細見議長が今年度100歳を迎えられる市民17人のうち、在宅で生活されている5人を訪ね、長寿のお祝いをしました。

9月27日に100歳を迎えられる和田ヒロさんは、着物姿で娘さんとともに市長らを出迎えました。市長から賞状を贈られると笑顔で受け取られ、昔の写真を見ながら、娘さんと一緒に日頃の暮らしぶりなどについて話されました。

子ども3人、孫2人、ひ孫1人に恵まれた和田さん。日本舞踊や俳句、小唄が大好きで、俳句雑誌に作品を投稿されたり、2、3年前までは八ヶ園に日本舞踊を踊りに行かれたりしていました。

現在は京都八勝館を週4日利用されていて、仲間と一緒に談笑やお菓子作りなどを楽しまれています。

和田さんは「皆さんに良くしてもらってうれしです。幸せと思えることが長生きの薬です」と周りの人たちへの感謝の気持ちを話されていました。

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。



ぞうきんの縦絞りをを行う児童たち

教室の隅までピカピカ

有都小でダスキン出前授業

株式会社ダスキンの社員による掃除の出前授業が9月3日、有都小学校で行われ、1～3年生が正しい掃除の仕方を学びました。

同校は、児童たちに専門家から掃除の基本を教してもらおうと、この授業を取り入れました。

はじめに、児童たちは掃除をする意味について勉強。同社員の「教室がきれいだと勉強をがんばれる」「毎日を健康に過ごせる」などの話を熱心に聞いていました。

その後、ほうきやちりどりの正しい使い方、ぞうきんの絞り方を体験しました。児童たちは「ほうきは押さえながら掃いて、止める」「ぞうきは縦に絞ることので力が入る」などの指導を受け、改めて正しい掃除の仕方を学んでいました。

藤井蒼空くん(9)は「専門家の人の話が聞けて、勉強になりました。教室の隅とこもしっかりときれいに掃除したいです」と、掃除に対する気持ちを新たにしていました。

夏の終わりに流しそうめん 男山地域再生めざす

だんだんテラスの会主催による流しそうめんが8月30日、男山中央センター商店街で行われ、市民ら約50人が参加しました。

同会は、男山地域の再生を目指し、昨年10月の独立行政法人都市再生機構、関西大学、八幡市による「男山地域まちづくり連携協定」の締結を機に発足。地域住民もメンバーとなり、男山団地周辺の空間を利用して、フリーマーケットや朝市など、様々なイベントを開催しています。

今回のイベントは、市民らに夏の終わ

りの思い出を作ってもらおうと、NPO法人八幡たけくらぶの協力を得て行われました。

そうめんを流す樋は、同くらぶが竹で作成。同商店街前のスロープを利用し、踊り場を挟んで約20mになる2本の樋を設置しました。

そうめんがゆでられ、準備ができると、いよいよ流しそうめん開始。参加者たちは用意された竹の器とはしを手に、勢いよく流れてくるそうめんをすくい上げ、おいしそうに口に運んでいました。



流れてくるそうめんをすくい上げる参加者たち